

## 会 議 録

会議名		第2回光が丘地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時		令和7年7月16日(水) 19時30分～21時10分		
開催場所		光が丘公民館 大会議室		
出席者	委員	23人(別紙のとおり)		
	その他	1人(地域活性化事業交付金申請者1人)		
	事務局等	4人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか2人、地域活力推進員1人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 光が丘地区の課題への取組について (2) 光が丘地区まちづくりを考える懇談会について (3) 中央区観光振興プログラムにおける区内風景の記録写真に係る観測地点の選出について (4) 地域活性化事業交付金について 4 その他 5 閉会		

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(○は委員の発言)

### 1 開 会

割柏会長が開会

### 2 あいさつ

割柏会長あいさつ

説明の都合上、順番を入れ替え、3 議題（4）地域活性化事業交付金についてから議事が進行された。

### 3 議題

#### （4）地域活性化事業交付金について

事務局より令和6年度実施事業まとめ誌の配布、令和7年度第3次募集のスケジュールについて説明を行った。

<募集スケジュール（第3次募集）>

8月15日（金） 募集締切（郵送可、到着分まで）

8月28日（木） 第3回まちづくり会議役員会へ報告

9月 4日（木） 第3回まちづくり会議へ提案

続けて、地域活性化事業交付金の申請団体から「みらいく（地域のつながりを未来（次世代）へと繋ぎ、育てる事業）」について、事業内容等の説明が行われた。

#### 【みらいく（地域のつながりを未来（次世代）へと繋ぎ、育てる事業）】

<説明要旨>

高齢化と自治会離れが同時進行する昨今、子育て世代が地域活動からますます遠ざかっている。子育て世代が地域の運営に関する話し合いや決定の場にほとんど加わらないことから、その価値観や意見、希望は、地域に反映されにくくなっている。

このままでは、地域活動の世代交代が危ぶまれることから、年間を通じて子どもや親子向けの体験学習事業を実施することで、「地域活動＝面倒な仕事」といったマイナスイメージを払拭し、生活を豊かにしてくれる楽しいものだとアピールし、自治会加入促進にもつなげる。

<主な意見・質問等 ◎は申請者の発言>

○経費内訳について、講師謝礼は誰に対するものか。年間を通じて謝礼が1万円なのは、少ないと感じた。

⇒◎バルーンアート等の講師（カーラ）分である。申請団体のメンバーが講師を務める場合、メンバーへの謝礼は基本的に交付対象外となると聞いている。

○チラシの配布方法はどのように考えているか。

⇒◎まだ確定はしていないが、学校に配布等していただけないか依頼することを考えている。また、自治会には掲示板への掲示をお願いする。親子をメインターゲットにしていることもあり、教育機関等を中心に配布していきたいと考えている。

⇒○事業の開催について知らせていただければ、委員も周知に協力したい。

⇒◎協力していただけるなら、子ども食堂などにもお願いしたい。ただし、同じ方に重複してお知らせされることがないようにしたい。

○2点伺いたい。本事業の実施からどう自治会加入へとつなげるのか。自治会加入促進の実績をどう示していくのか。また、今後の自立性、発展性について、子ども会、自治会、PTA等とどのように関わって事業を継続していくのか説明してほしい。

⇒◎自治会加入促進について、「事業の実施により何人加入者が増えた」を示すことは難しい。また、自治会に入らないことや地域のコミュニティに属さないことは社会全体の風潮または問題であり、単に何かを実施することでそれを変化させていくことは相当難しいと考えている。だから何もしないのではなく、自治会加入に向けたマインドセットとして、自身も含め、地域の団体が様々な事業を多く展開することで、地域に住む人がここには色々な活動があることを感じ、この地域にいて良かったと思っていただくことから始めたいと考えている。抽象的な返事で申し訳ないが、できる事業を精一杯継続し、楽しい地域を作っていくことで、地域の中でつながっているという意識を持ってもらうことを計画している。（具体的な他団体との関わり方は決まっていない。）

⇒○自治会加入促進で結果を出すことは大変難しい。市全体の自治会加入率が50%を下回っている中で、高齢化した自治会員が方策を考えるよりも、若い人たちが考える事業を地区自治会連合会としても応援したい。若い人たちが参加しやすい場面で「事業に自治会の人たちも協力していた」と感じていただくことが大事だと思う。PTA等にもぜひ協力をしていただきたい。

○事業の運営に関わった人たちが、自分の得意を生かして地域に奉仕すること

にやりがいを感じることは大変重要であり、ここが上手くいかないと事業は続いていかない。また、すぐにではなくても、参加者が運営を手伝うなどの雰囲気生まれるとよい。主催する側のチームワークのすばらしさが参加者側に波及していくことに、勝手ながら期待したい。

⇒◎地域活動の世代交代の大切さをとても感じている。団体として、年長者が事務的な仕事を主に担い、若いメンバーには活動の楽しい部分を体験してもらいながら世代交代に向けた取組も進めていく。また、参加者の運営者側へのリクルートについても、自然とできるように進めたい。SNSに目を向けると様々な取組があることを感じる。地区の内外に囚われず、気の合う仲間とつながっていくことで、参加者も含めた活動の幅が広がるのではないかと考えている。

#### <結果>

本事業について、積極的採用とする。

※最後に申請者から、事業実施に当たる団体メンバーへの謝礼に関する経費の交付金対象化について要望があった。

#### (1) 光が丘地区の課題への取組について

##### 【子育て環境・健全育成部会の加賀谷部会長による報告】

#### <要旨>

こどもまちづくり会議が7月6日に行われた。弥栄中学校から4名、緑が丘中学校から2名の生徒会役員が参加し、市からは市長とこども・若者政策課等の職員が参加した。内容は、昨年度行われた市長との懇談会の回答書について各中学校でどのような扱いをされたかと、旧青葉小学校跡施設に建てられる複合施設に関することであり、中学生の視点で意見交換を実施した。

回答書について、弥栄中学校では生徒会で読み合わせを行い、全校評議会にて意見を伺ったが、特になかった。緑が丘中学校では、意見ボードにあった質問への回答に使わせていただいた。回答書は長期的に利用していくことを考えており、こどもまちづくり会議でも1年かけてさらなる意見や質問などを聞いていきたいと思う。さらに、複合施設については、こども・若者政策課からの説明後、自由に意見を出してもらい、生徒によるプレゼンテーションを実施した。

また、こどもまちづくり会議や子ども食堂で子どもたちの今思っていることや困っていることについてアンケートを取りたいと考えている。内容によってはこのまちづくり会議で提案等させていただくかもしれない。

#### <主な意見・質問等>

○社会科の授業で、子どもたちが分厚い資料を見ながら鹿沼公園の計画に関して考えることを行っていたが、レベルが高いと感じた。「地域のことを知る

う」などを学校の先生が上手く教材に取り込むことができればよいと感じる。

⇒○学校でも地域のことを扱えるぐらい授業時間に余裕があるとよい。貴重な意見であり、市PTA連絡協議会などでも話してほしい。

**【安全・安心部会の青木部会長による報告】**

特になし。

**【まちづくり部会の南部会長による報告】**

<要旨>

上溝団地の建替え工事については、以前より部会の継続テーマになっている。特に2工区について、集会所、コミュニティルームが建設される。完成は来年になるが、運営方法を考えなければならず、他にもいくつかテーマはあるが、これをメインに検討していきたい。

<主な意見・質問等>

○集会所、コミュニティルームは以前から神奈川県と話をしてきたが、いよいよ来年の夏に完成する予定。県から2工区の集会所、コミュニティルーム等に関する最新の図面の送付があった。基本計画から少し変わるところとしては、法令による緑化面積確保のため、駐輪場が移動になったこと。屋根付き駐輪場は3工区に設置予定。また、神奈川県要望により太陽光発電関連機器設置のスペースが設けられており、車いす専用駐車場のスペースを一部使用する形になったこと。基本計画から大きな差はないが、意見等あれば県に伝えたい。

(2) 光が丘地区まちづくりを考える懇談会について

割柏会長から、光が丘地区まちづくり懇談会のテーマを募集していたが、今年度についてはまだ具体的に決まっていなく、市長のスケジュール調整も厳しくなることから、今年度は見送ること、ただし、令和8年度に向けてもある程度話しておいたほうがよいことから、まちづくり会議役員会で出たテーマ「県営上溝団地の集会所、コミュニティルームについて」、「小学生と共に考える光が丘地区のまちづくり」の2点について議論を進めていきたい旨、説明があった。

<主な意見・質問等>

○並木小学校が令和9年3月に閉校する件について、まだ跡地に関する計画ができていないと聞いている。2年後のことでもあるので、ある程度まちづくり会議で要望を取りまとめて、市へ提案してもよいのではないかと。

⇒○まちづくり懇談会でなくても、市で所管する部署をお呼びして、具体的に聞くことでもよいのではないかと。

⇒○並木小学校のPTAでは、学務課とこの件について話を進めているが、防

災関係部署や学校施設課とも相談していかなければならないと感じている。PTAの本部役員から出た、球技のできる場所や犬の散歩道が不足しているなどの意見から、学校をもっと自由に使えるとよいこと、また、諦めの声も上がっていたため、数は力ではないが、こういう場を活用して何かコミュニティで活用する使い方ができたらよいと思う。

⇒○防災拠点としての活用については、既に要望を出している。避難所が減ってしまうことは問題だと考えている。意見については、各団体でまとめていただきたい。それをまちづくり会議などで審議して整理していくこととしたい。

⇒○進め方について、まちづくり会議役員会などでまちづくり会議傘下の委員会や構成員を決めてあげないと、意見を求めても出てきにくいのではないか。大変だが、まちづくり会議が仕組みづくりや環境整備をしてあげた方がよい。

⇒○メンバー選定をするよりか、まずは、当該区域の自治会意見を聞きたいと思う。その上で、例えばまちづくり部会にメンバーを加える等で対応できるのでないか。

⇒○各組織が全く異なる運動をされても困ると感じる。自治会連合会からまちづくり会議で出た話を自治会へしていただき、自治会同士で連絡を取りながら最終的にまちづくり会議の場へ上げていただくイメージが浮かぶ。

⇒○体育館は防災訓練等、グラウンドは公園等の名目で使用できるとよい。建物を建てるのはハードルが高いと感じる。

⇒○たたき台を作って議論を始めたい。今日出た話について、明日の自治会長会議で当該自治会に話をさせていただきたい。

### (3) 中央区観光振興プログラムにおける区内風景の記録写真に係る観測地点の選出について

事務局よりまちづくり会議役員会で出た3つの候補地について説明し、2か所の撮影場所選定に向けた意見を伺った。

#### <主な意見・質問等>

○候補地の光が丘小学校屋上からの撮影について、エコタウンの住宅やヤオコーの住宅を写してくれるとよい。

⇒○移り変わりを感ぜられる場所を撮影できるとよい。

⇒○屋上からであれば、並木小学校と旧青葉小学校の両方を撮影できると移り変わりを感ぜることができる。

○光が丘小学校は、地区のシンボルでもあるので、そこを中心として屋上から撮影するのがよいのではないか。

○個人的には、移り変わりや歴史を見たいのであれば、歩道橋や屋上から村富線を撮影するのがよいと思う。

○青葉小学校と上溝団地は今は変化があって面白いが、変化後はずっと同じ景色が続くと考えられるので、光が丘小学校屋上からの方が色々と写せる。

○光が丘小学校屋上は地区内の撮影場所としては、一番高い位置にあるので、歩道橋よりもよい。

<結果>

光が丘小学校の屋上から東西（並木小学校や旧青葉小学校の方向と村富線の方向）に撮影し、次回のまちづくり会議で報告することとする。

#### 4 その他

相模原市立博物館プラネタリウムのリニューアルオープンについて、チラシを配布し、事務局から説明を行った。

#### 5 閉会

割柏会長が閉会

以上

## 光が丘地区まちづくり会議委員出欠席名簿

No.	団体等	団体での役職等	氏名	出欠
1	光が丘地区自治会連合会	会長	割 柏 秀 規	出席
2	光が丘地区自治会連合会	副会長	阿 部 俊 夫	出席
3	光が丘地区自治会連合会	副会長	鈴 木 勝 雄	出席
4	光が丘地区自治会連合会	監事	南 雄 二	出席
5	光が丘地区自治会連合会	会計	藤 本 征 志	出席
6	光が丘地区社会福祉協議会	会長	加賀谷 育 子	出席
7	光が丘地区社会福祉協議会	会計	小 山 千 秋	出席
8	光が丘地区民生委員児童委員協議会	会長	石 井 和 子	出席
9	光が丘地区民生委員児童委員協議会	副会長	岸 豊 治	出席
10	光が丘公民館	館長	坂 本 きよか	出席
11	光が丘公民館	青少年指導委員	富 木 美智世	出席
12	陽光台公民館	館長	前 田 進	出席
13	陽光台公民館	体育部長	佐 藤 直 樹	欠席
14	光が丘地区子ども会育成連絡協議会	会長	羽 鳥 亜樹子	出席
15	老人クラブ連合会 (光が丘地区・陽光台地区)	光が丘地区	佐 藤 健 司	出席
16	光が丘地区交通安全母の会	会長	田 中 友 紀	欠席
17	交通安全協会 (青葉支部・陽光台支部・光が丘支部)	光が丘支部	安 藤 浩 秋	出席
18	小学校PTA	並木小学校PTA	佐 藤 慶 一	出席
19	中学校PTA	緑が丘中学校PTA	太 田 剛 史	欠席
20	小・中学校長	弥栄中学校校長	古 屋 礼 史	欠席
21	和泉短期大学		吉 田 久仁子	出席
22	青少年健全育成協議会 (光が丘公民館区・陽光台地区)	光が丘公民館区	岡 見 益 義	出席
23	防災専門員・防犯指導員	防犯指導員	村 松 映 介	出席
24	避難所運営協議会	光が丘小学校 避難所運営協議会会長	青 木 進 一	出席
25	光が丘地域包括支援センター	センター長	大 谷 尚 功	出席
26	一般社団法人光が丘ふれあいセンター		三 原 祐 子	出席
27	有識者		西 本 敬	出席